

# Teacher Training College (教員養成学校)

## ープロジェクト詳細ー

### 開発インストラクターとなるみなさんへ

これまでにたくさんのDI（開発インストラクターDevelopment Instructor の略称。ボランティア、プログラムに参加した学生のこと）が、Teacher Training College（教員養成学校。以下TTC）に参加し、多くの貢献をしてきました。

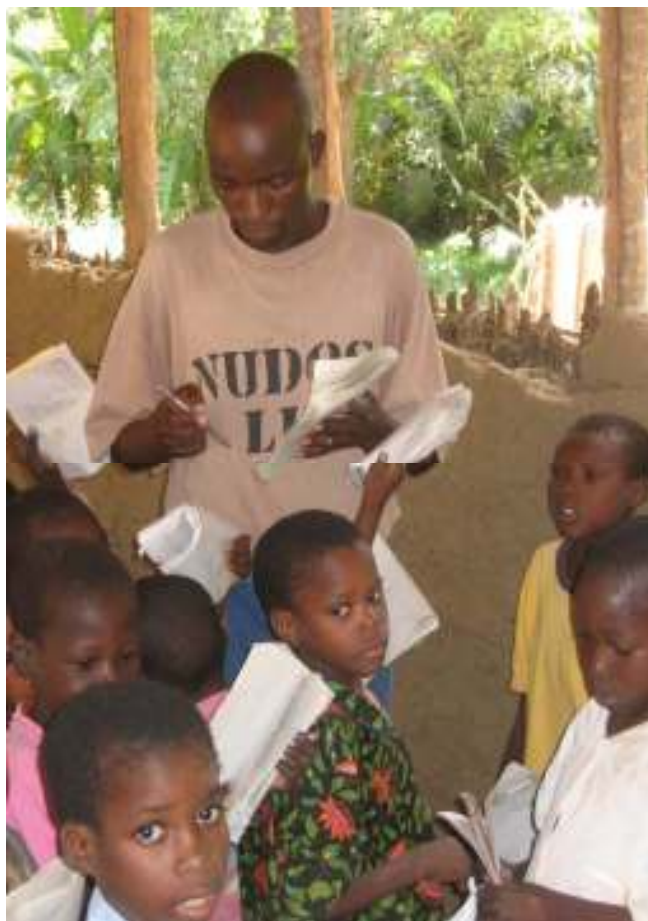
TTCとは、現地の特に農村において、未来の小学校の先生を養成するプロジェクトです。現地の小学校教育の改善と向上に努めるこの活動は、現在、アンゴラ、モザンビーク、マラウイで行われています。

TTCは「DNS スクール」とも呼ばれ、生徒達は教育を受けて卒業した後は、小学校の先生として活躍しています。

DIはこのプロジェクトにおいて、プロジェクト・リーダーと密接に活動を行います。さらに教師、プロジェクト・リーダー達で組織される小規模なグループの一員として、開発のための活動を計画することになります。生徒達にとってヨーロッパ、アメリカ、日本など世界中から集まるDIと知り合うことは、たくさんのことを学ぶ良い機会になっています。

このように、様々なバックグラウンドを持つDI達は、この活動において各自の経験をもとにした知識を用い、アンゴラ、モザンビーク、マラウイにて小学校での教育環境を向上させてくことになります。

今回のプロジェクト詳細では、アフリカのTTCに関する一般事項を説明します。次に、DIの仕事内容がどのようなものかを、具体例や組織構造に沿いながら説明をしていきます。



## I. アフリカの TTC について

アフリカでは、2008年現時点で21のTTCが存在しています。(モザンビーク：10校、アンゴラ：9校、マラウィ：2校) これらの学校は、各国の政府と協力のもとに設立されました。さらに上記3国や、それ以外の国での設立も計画されています。アフリカのTTCでは、農村地域における小学校教員を養成するのが目的です。

最初のTTCはモザンビークのマチャバにて1993年に開始され、15年が経過しました。まだ15年という短い間ではありますが、校数を増やし、下記のような成果を出してきました。

- ◆ プログラムとカリキュラムは画期的に改良されて、さらにDMM学習が使用されるようになりました。DMMとは、コンピューターにあるデータベースを利用した、生徒が主体となる自己学習です。プログラム、カリキュラムとDMMの組み合わせにより、農村地域の教育状況を向上させています。
- ◆ 教育に関するワークショップは、デジタルデータが保存可能なため情報源として活用されるようになり、プログラム改善に効果を上げています。さらにコミュニティにおけるカルチャー・センターの役目も果たしています。2008年現在、3国に34の教育に関するワークショップを設けています。
- ◆ 学校はTTCを卒業した生徒たちと連絡を取り合い、実践活動のサポートを続けます。
- ◆ TTCはイブニング・スクールやスキル・トレーニングのためのコースを子ども、若者向けに開くことでコミュニティに貢献しています。これらの活動は農村の幼稚園のサポート、設立にも貢献しています。学校の運営、教師の育成は未来、社会に大きな役割を担っています。

以上に述べたような活動をそれぞれのTTCが行うことで、アフリカの国と地域という両方のレベルで教育現場が改善され効果が広がっていくのです。

### 農村における小学校教員の育成

#### 教師とは?

- プロとして十分な知識とスキルと持つ者
- 新しい知識、方式を取り入れた教育を行える者
- 開発に興味を持ち社会の発展に熱意のある者
- 児童教育に対する向上心のある者
- 技量だけではなく熱意と責任を持って教えることができる者



## II. 8学期のトレーニングプログラムについて

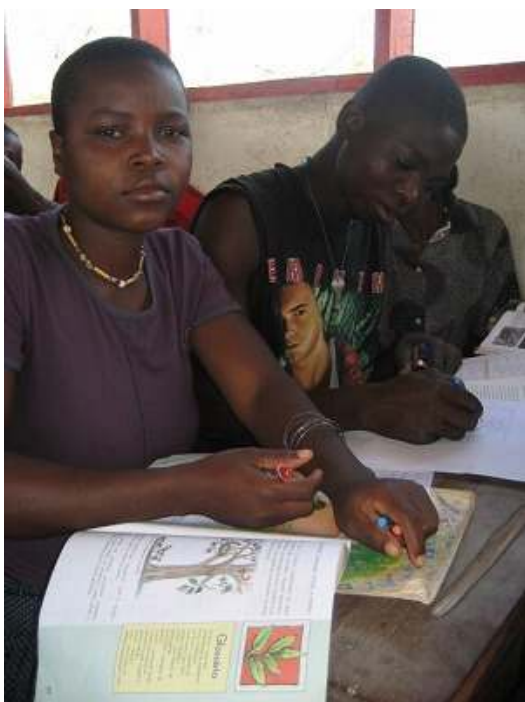
このプログラムは30ヶ月あり、教師になるためのトレーニングがしっかりなされたか、村で教育をできるだけ準備ができているか、という成果を最終的にチェックします。30ヶ月間の詳細に関しては下記の通りです。

### 教育構造

1年目			
8月～10月	11月～1月	2月	3月～7月
1. 世界情勢	2. 自国に関して	3. ビルディング	4. 教育実習と学習
受講可能な教科：ポルトガル語, 算数, 科学, コミュニケーション, 世界情勢, アンゴラの情勢, 地理, 歴史, 美術, 経済, 教育哲学, 教授法, 教育学, 心理学, 倫理, 社会学, 学校経営			
学校			

2年目		
8月～9月	10月～12月	1月～7月
5. 専門教科	5. コミュニティー開発	6. 農村での教育実習と学習
学校		農村

3年目 (6ヶ月)		
8月～11月	12月	1月
6. 教育実習	7. ワークショップ	8. 最終試験
農村		学校



#### ピリオド1：私たちの住む世界

3ヶ月間ある「ピリオド1」では、「私たちの住む世界」として世界情勢について学びます。この授業を通して広い視野を養います。

#### ピリオド2：私たちの国

この3ヶ月間では「私達の国」として、自国の自然、社会情勢、政治、未来の展望などに関する学習を行います。

#### ピリオド3：ビルディング

この1ヶ月間は、実践活動として学校内のメンテナンス、ガーデニングなどを行います。この期間は教師としての計画、組織、指導能力を養うことが目的です。

#### ピリオド4：教育実習と学習

この5ヶ月間は、学校周辺の小学校にて教育実習を行い、さらにカリキュラムに沿って自己学習を行う期間になります。さらに「100の教育に関する問題」というタイトルで、教授法に関してレポートを書く必要があります。



#### ピリオド5：専門教科とコミュニティー開発

この5ヶ月間は、専門教科とコミュニティー開発に関して集中的に学びます。生徒は専門教科として1つ、もしくは複数の教科を選択します。コミュニティー開発に関する学習はHumana People to People（以下Humana）により提示されます。



#### ピリオド6：プロとしてのトレーニング

この学期はプログラムの中で最長の11ヶ月であり、プロの教師としてトレーニングを受けます。生徒は学校を離れ、農村にある小学校で教えることになるので、問題が起こった場合は各自で対処しなければなりません。

また、校長、教師、父兄、子ども、コミュニティーと一丸となって働きます。この期間、生徒は引き続き教材に関して学び、学校を離れている間も学校との連絡は取り続けます。

#### ピリオド7 / 8：ワークショップと最終試験

学校に戻って、教育実習の経験を元にワークショップを開きます。そして最終試験を受けることとなります。また、TTCはトレーニングの一環として、本国であるアンゴラ、モザンビーク、マラウイ、そして学校周辺のコミュニティーで視察旅行を行います。

生徒は2年半の期間で開発に関して学びますが、下記に挙げるような内容からスキルを習得していきます。

- 研究や学習を通じた情報収集
- 様々な経験を持つ人々との交流、経験の共有
- イベントの計画と実行
- 国や地域の権威者、その他の有力者への訪問
- 異なる価値観の人々との見解の交換



これらの全てが、彼らの身内に対する愛情や、彼ら自身と他のものの成長のために何かをするという決意をもたらすこととなります。

### Ⅲ. 開発インストラクターの役割と仕事

1. TTC で半年、または 1 年活動する DI にとって、この期間はとても挑戦的な活動であり、現地における教育の充実、改善の担い手となるすばらしい機会でもあります。
2. 通常 25 名の生徒達、本国の教師 1 名、DI で 1 グループとなり、DI は指導的な立場で活動します。
3. DI がプロジェクトを去った後も、チームの生徒達がこれまで学んだことを活かし、また自ら新しい方法で技術や知識を身につけていけるようにします。
4. TTC は 1 学年に約 100 名、3 学年合計で約 300 名の生徒を抱える大きな学校です。そのうち 200 名が登校し、100 名は農村で実習を行っています。各学年に 2 つのプロジェクトがあり、1 プロジェクトに 50 名が参加します。1 つのプロジェクトには 25 名ずつの 2 チームあり、各プロジェクトにプロジェクト・リーダーが 1 名ずついます。
5. DI は「トリオ」の一員として活動します。「トリオ」とは、プロジェクト・リーダー、グループ・ティーチャー、DI の 3 名で構成され、一緒に生徒習得度の評価を行ったり、コースなどの計画を立てたりします。DI は常にプロジェクトを計画、実行し、週ごとに開かれるミーティングで結果報告をしたり、次のプロジェクトに関して話し合いを行ったりします。



#### 1. 期間について

DI は 25 名の生徒で構成されるグループに属します。このグループの一員になるのは、2 年半のいずれかの期間にある生徒たちで、特定の開始時期は決まっていません。学年別の活動は下記に示します。

##### 1) 1 年目

**3 ヶ月：**生徒は「私たちの住む世界」に関して学びます。最初に DMM に関するイントロダクションを受け、コンピューターの使い方やネット上での情報収集に関して教わります。DI は生徒にとっては初めてであろう、コンピューターの使い方やインターネットについて教えることとなります。

さらに、DI は DMM でコースを開いたり、ネットワークに問題が起きた場合など対処することとなります。また、世界情勢を学ぶ生徒や教師のために今日の世界における政治、経済、環境問題についてのコースを開くこととなります。



3ヶ月：「私たちの国」に関する学習は興味深い期間であり、生徒達はコミュニティにおいて2週間の調査を行います。DIは生徒に調査方法、インタビューの仕方、レポートの書き方、統計の作り方、農村での移動や生活に関して教えます。生徒が調査から戻ったら調査結果について議論を行います。そして最終的に調査をまとめたプレゼンを発表します。それ以外の期間は、生徒の勉強のサポートをします。



1ヶ月：「ビルディング」の期間では、学校で実践活動を行います。DIはプロジェクト・リーダー、数名の生徒達と一緒に活動の計画を立てます。毎年、活動内容は変わってきますが、活動を通して生徒達が立案、効率性、精密さ、協調性の面でトレーニングできるような内容でなくてはなりません。また、すべての面においてDIは生徒のお手本とならなければなりません。



5ヶ月：「教育実習と学習」で、生徒は初めて教えることを体験します。生徒2~4人で1グループとなり、学校周辺の小学校教師1名の下で実習を行います。DIは実習が開始できるよう小学校との段取りをつけ、生徒達が実習を開始できるようサポートします。

また、午前の実習が終わり午後学校に戻るとその日の成果を話し合い、翌日の準備をサポートします。1クラス40~60名の子ども達に、新しい方法で授業ができるように心がけます。「100の教育に関する問題」はこの時期に書かれ、DIは作成をサポートします。



## 2) 2年目

5ヶ月：「専門教科とコミュニティ開発」は2ヶ月、3ヶ月の2つの期間に別れており、最初の2ヶ月では、基礎教科よりも専門として選択した2教科を学ぶこととなります。DIは、生徒の学習のサポートをします。

次の3ヶ月はウーマン・エンパワーメント、起業、コミュニティにおけるリーダーシップ、健康管理に関して学習します。これらの学習は「教師の第2の手」とも呼ばれ、小学校だけでなくコミュニティ内で能力を発揮できるという意味を持ちます。この期間、DIはコミュニティ開発に関して授業を行い、生徒は次の期間にコミュニティでどのような活動をするか決めなくてはなりません。

11ヶ月：「農村での教育実習と学習」では、生徒は学校を離れて農村にある小学校で教えることとなります。DIはこの期間生徒の活動と直接関わることはありませんが、生徒を訪問して活動の監

督を続けます。

### 3) 3年目

1ヶ月：「教育に関するワークショップ」は、各コミュニティの5～10の学校で開かれます。いくつかの学校ではインターネットやTVの使用が可能で、ワークショップのための最新情報を入手することもできます。1年の間、学校から離れていた学生が戻るこの期間、DIは生徒を全力的に支援します。またコンピュータに関する指導、ワークショップのためのアクティビティの計画、準備を指導します。



1ヶ月：「最終試験と卒業」は、最後の期間になります。DIは、農村での実習についてレポートを書く生徒の最終課題をサポートします。このレポートでは、生徒が「第2の手」をいかに発揮したか測ることができます。

## 2. 学校の運営について

TTCでは、プロジェクト・リーダー、グループ・ティーチャー、DI、生徒がそれぞれ日々の仕事を担当することで運営されています。いくつかの担当は生徒、教師が一緒に行うこともあります。担当範囲がきちんに行われているか確認することもプロジェクト・リーダー、グループ・ティーチャー、DIの役目になります。建物や設備のメンテナンス、清掃が主な仕事になりますが、これらの活動は体力を鍛え、他人を思いやる心を育てることにつながります。

プロジェクト・リーダー、グループ・ティーチャー、そしてDIはお皿を洗ったり野菜を育てたり、スポーツをしたりというTTCでのすべての活動において生徒の手本とならなければなりません。

## 3. DIに与えられる担当範囲

下記に担当範囲の例を挙げます。担当は校長によりDIと生徒に割り振られます。

### イブニング&ウィークエンド担当

DIは担当範囲として生徒のために夕方と週末にプログラムを開きます。教師の大半が午後に勤務を終えるので、学校に残った教師とDIでプログラムをアレンジします。プログラムの内容は英語教授法、コンピューター・スキルを教えたり、世界情勢に関するコースを開いたり、映画を上映したり、楽器演奏、スポーツ、ビルディング・ウィークエンドの計画を立てたり、学校周辺に住む人々をオープン・サンデーに招待したりと様々です。



### パートナーシップとスポンサーシップ

DI の仕事のひとつとして、プロジェクト・リーダーと一緒にパートナーシップとスポンサーシップを担当し、学校を運営するための資金を調達します。資金を集めるために支援者（パートナー）となる人々を探し、提案書を作成し、話し合いを持ち提携を結びます。さらに、特定の生徒の学費を援助する支援者を探します。あるスポンサーは女性を対象に援助を行い、またあるスポンサーは特定の地域出身の3名という枠を設けて援助を行う場合があります。DI はプロジェクト・リーダーが支援者に提出するレポートの作成を手伝います。



### スペシャル・イベントのマネージメント

DI は、スペシャル・イベントを企画・運営することになります。スペシャル・イベントとはビルディング・ウィークエンド、オープン・サンデー、スポーツ・トーナメント、HIV/AIDS や結核、マラリア予防に関するプログラムなどです。

### 自主性のアシスタント

DI は生徒と一緒に日常の清掃、料理、ガーデニング、経済管理、メンテナンスという仕事に取り組み、指導を行います。このような仕事は生徒たちが自主的に行うよう、実施は生徒たちに任せます。DI はルールや基準を決めて改善を図るようにします。

### その他の担当業務

改善のための提案を出すなど。

## IV. どうしたら役に立つことができるか

1. DRH スクールでプログラムを遂行できるだけの準備をしておきましょう。
2. 実践活動に必要な組織力、指導力、問題解決能力を蓄えましょう。
3. コースを開いたり、教えたりするために、DRH スクールでプレゼンテーションを多く行い、自分をトレーニングをしましょう。
4. 生徒と一緒に開くイブニング、週末のイベントに何をするかアイデアを絞っておきましょう。
5. ポルトガル語圏の国へ派遣される場合、言語力が重要になります。日常生活に支障のないよう語学力をつけておきましょう。
6. 効果的なレポート、ポスターなどの教材を作成できるようになりましょう。
7. DMM に関する知識をつけ、指導が行えるようにしましょう。
8. 健康管理をしっかりし、体力をつけ、アフリカでの活動に備えましょう。



## V. プロジェクト期間に関して

プロジェクト期間は25週あり、各週の詳細は下記に示します。

### ピリオド1：最初の6週間



プロジェクトの一員となり、人々に紹介されて与えられたポジションで仕事を開始します。

#### ゴールデン・カット・ミーティング

最初の6週間が過ぎると、プロジェクト・リーダーがプロジェクトを評価します。DIはこれまでの活動結果を報告し、進行状況について説明します。

#### タスク・フォース・ミーティング

この週では地域、もしくは国レベルでDIが集まり、実践的な活動を行います。この活動は地域、もしくは国のリーダーにより計画されます。タスク・フォース・ミーティングは決まった時期はなく、派遣期間中ふさわしいと思われるタイミングで行われます。

#### 休暇と研究の週

この週では、DIは自分の選択で派遣国内を旅行することができます。業務の進行状況やタイミングを考慮して計画し、プロジェクト・リーダーの許可を得て旅行することになります。

### ピリオド2：15週間

この15週間の間、DIはこれまでの業務を継続して行い、期間の終わりには自己評価をして最終レポートをまとめ発表します。プロジェクト・リーダーや関係者と一緒に、レポートの内容について議論をします。最後に、これまでの担当業務を次のDIに引き継ぎ、事後研修期間に入ります。

#### 週末

週末の活動は、プロジェクト・リーダー、DI、プロジェクトの責任者で計画を立てます。ひと月の週末の活動例を下記に示します。

- ・ プロジェクトの特別活動やイベントは生徒、スタッフ、DIで行う。
- ・ 地域内の2~5つのプロジェクトで、まとめて活動をしたり、達成度や計画についてミーティングを開いたりする。
- ・ ビルディング・ウィークエンドは全員が参加するプログラムで、建物や外のメンテナンスの修理と建設を行う。プロジェクト・リーダー、DI、その他の担当者が計画を立てて準備し、プロジェクト関係者が参加する。
- ・ 自由に週末を過ごす。

#### レポート

DI として、下記の内容に関して発表や話し合いを行うことになります。

- ・ 週次レポート
- ・ 月次レポート
- ・ 中間レポート
- ・ 最終レポート
- ・ 「研究の週」で行った事に関するレポート

## VI. 最後に

今回は、TTC の仕事に関する一般的な事柄を説明しました。一読したことで、どのような仕事があるか理解して頂き、TTC で活動したいかどうかを考え、出発に向けた準備を始めることができたのではないのでしょうか。

この TTC に関する「プロジェクト詳細」を一読し、次に行くことは、プロジェクト・リーダーに対するプレゼンテーションを準備することです。このプレゼンテーションの準備は、DI が開始してから 3 ヶ月が過ぎた時にある、「ミッドウェイ・ミーティング」の課題でもあります。そして、このプレゼンテーションは、チームメイト、担当の指導教員、ヘッド・マスターにより審査され、認められた後にプロジェクト・リーダーへ送られます。

その後、プロジェクト・リーダーはプロジェクト内の特定した業務範囲、業務計画を派遣の約 2 ヶ月前に連絡してきます。ですので、この出発までの 2 ヶ月で精神面、肉体型、スキルなどを鍛え準備を整えることができるでしょう。



あなたが最善の力を発揮し、成功をつかめますように・・・

2008 年 3 月 Humana People to People